

産総研 シンポジウム

マイクロプラスチックの 計測・評価を考える

プラスチック循環に関するLCA的調査の実施とともに、生分解性プラスチック開発、プラスチックの再資源化技術、ナノ・マイクロプラスチック計測技術の開発が急務となっています。

今回これら技術課題に対する、公的研究機関の取り組みと、産業界を代表して計測機器業界各社の取り組みについてご紹介いただきます。

2019年 **12月2日** 日 13:00~17:20 (開場12:00)

会場 / 秋葉原UDXビル 4F UDX ギャラリーネクスト NEXT-2

主催 / 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

近年、プラスチック廃棄物およびその分解物であるマイクロプラスチックによる海洋や河川等の環境水の汚染が、大きな社会問題となっています。また、飲料用ボトル水へのマイクロプラスチックの混入やプラスチック製食器や包装材からのナノ・マイクロプラスチック溶出の問題も顕在化しています。

これは、プラスチックの環境中での劣化や、分解の特性が十分把握できないまま、プラスチックという素材のあるべき廃棄・再利用が、これまで十分に考慮・検討されてこなかったことにも起因しており、特に環境水中で分解され生成する、あるいは飲料ボトル水や食器、包装材から溶出するナノ・マイクロプラスチックを正確に把握する標準的な計測技術が存在していないことも大きな課題となっています。

今回、このナノ・マイクロプラスチック計測・評価技術についての公的研究機関の取り組みと、産業界を代表して計測機器業界各社の取り組みについてご紹介いただきます。



開会のご挨拶 (13:00~13:10)

産業技術総合研究所 副理事長 三木 幸信

program

基調講演 (13:10~13:40)

海洋プラスチックごみ問題解決のためのISO 標準化の動向
— 生分解、バイオベース、マイクロプラスチック、リサイクル —
産業技術総合研究所 イノベーション推進本部 審議役 国岡 正雄

招待講演1 (13:40~14:10)

生分解性プラスチックの分解メカニズム解明に向けた取り組み
国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター
バイオプラスチック研究チーム チームリーダー 阿部 英喜

招待講演2
(14:10~15:35)

マイクロプラスチックと機器分析 (一般社団法人日本分析機器工業会 会員企業様による講演)
マイクロプラスチック高速自動分析を実現する赤外イメージングのご紹介
アジレント・テクノロジー株式会社 親泊 安基
MP 分析の現状レポート — FT-IR・ラマン 最新の分析事例から考察する —
サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社 小松 守
マイクロプラスチックの分析・評価技術
株式会社島津製作所 十時 慎一郎
マイクロプラスチック分析への堀場製作所の取り組み
株式会社堀場テクノサービス 沼田 朋子

一般講演
(15:55~17:10)

産総研におけるプラスチック課題への取り組み
産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 環境管理研究部門 副研究部門長 鳥村 政基
環境標準研究グループにおける元素分析技術の高度化の取り組み
— 微粒子計測技術開発を中心に —
産業技術総合研究所 計量標準総合センター 物質計測標準研究部門 主任研究員 宮下 振一
走査電子誘電率顕微鏡によるナノ・マイクロプラスチックの細胞への影響解析
産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 上級主任研究員 小椋 俊彦

開会のご挨拶 (17:10~17:20)

産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 研究戦略部長 児玉 昌也

(敬称略)

講演後に名刺交換会も実施いたします。(~18:20頃)

お申し込み方法

事務局メールアドレスへ、
参加者のご氏名、ご所属、ご役職をご連絡ください

事務局メールアドレス
tmo-info-ml@aist.go.jp

事務局・お問い合わせ先

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション推進本部 技術マーケティング室
TEL 029-862-6026 E-mail: tmo-info-ml@aist.go.jp

【会場アクセス】秋葉原UDXビル 4F UDX ギャラリーネクスト NEXT-2

東京都千代田区外神田4丁目14-1 最寄り駅: JR秋葉原駅(電気街口改札を抜けてすぐ)

